

平成30年度事務事業評価シート(29年度実績)

◎基本情報

事務事業名	子どものまち推進事業		担当部署	健康福祉部 子どもいきいき課		
総合計画体系			根拠法令 計画など	鳴門市子どものまちづくり推進協議会活動費補助金交付要綱 鳴門市子ども・子育て支援事業計画		
基本政策(大項目)	2	ずっと笑顔で生きがいを感じるまちづくり	事業期間	開始	平成	14年度
政策(中項目)	2	子どもたちの笑顔と歓声が聞こえるまち なんと			終了	未定
(小項目)		子どものまち				
施策	1	地域で子どもを育てる活動支援				
基本事業	3	子どもがすくすく育つまちづくり				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input type="checkbox"/> 世帯 <input type="checkbox"/> 団体 <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 鳴門市民						
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	鳴門市子どものまちづくり推進協議会を通して、子ども関係グループ・団体及び関係機関が相互連携を図りながら、子どもたちの主体的な活動を支援し、子どもが主役の「子どものまちづくり」を推進する。						
事業計画	29年度に何を計画していたか	・第15回子どものまちフェスティバル(H29/10/15) ・なんと再発見子どもバス(H29/12/16) ・ホリデーフリーバス事業 ・子どものまちづくり指導者養成講座(H30/2/11)						
成果目標	事業目標の達成度合	指標名	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度	単位
		子どものまちフェスティバル参加者数	10,000	12,000	12,000	12,000	12,000	人

◎実施結果(DO)

事業実施内容	29年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	「子どものまちフェスティバル」を、子どものまちの主体的な体験活動の事業として「鳴門のまつり」と共催で開催した。29年度は、市制施行70周年記念冠事業に加え、四国ゲートフェスタと同様開催となった。鳴門市子どものまちづくり推進協議会については、地域でのネットワークづくりを推進していくため、新たに地域で積極的に子どものまちづくりに取り組んでいただけた団体等について、加入各団体に情報提供や周知をお願いした。						
事業実施手法	<input type="checkbox"/> 市実施 <input checked="" type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> その他							
指標名		28年度実績	29年度実績	30年度目標	31年度目標	32年度目標	単位	
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1	子どものまち推進協議会加入団体(市・市教委を除く)	66	66	66	66	66	団体
	2	子どものまちフェスティバル参加者数	12,000	8,000	12,000	12,000	12,000	人
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	子どものまちフェスティバル参加者数		12,000	8,000	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)			66.7	—	—	—	%
今年度の進捗状況		未達成		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
	平成29年度	当初予算額	0	0	0	60	663	723
		補正予算額	0	0	0	0	0	0
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0
		全体予算額	0	0	0	60	663	723
		決算額	0	0	0	9	555	564
		繰越額	0	0	0	0	0	0
		人件費	正規職員(7,234千円/人)	臨時職員(2,492千円/人)	総人件費		総事業費	
		0.2	0.0	1,447	2,011			

事業費推移	年度	28年度決算	29年度決算	30年度	31年度	32年度
	事業費	435	564	756	756	756
	うち一般財源	411	555	696	696	696
	人件費	1,427	1,447	1,447	1,447	1,447
	総事業費	1,862	2,011	2,203	2,203	2,203

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値		所見欄
①活動に対する評価	有効性	B:概ね有効性があった		「鳴門のまつり」の関係機関・団体及び戦略企画課と連携し、幅広い広報活動に取り組めた。
	効率性	B:概ね効率的だった		鳴門市子どものまちづくり推進協議会の多くの団体の協力を得て伝統的な遊び、子どもたちの主体的な体験活動を支援できた。
②成果に対する評価	指標名	子どものまちフェスティバル参加者数		四国ゲートフェスタと同時開催となり、参加者からは概ね好評を得たが、開催中に荒天となったことで、体験コーナーでは活動の継続しかねる状況となった部分もあり、晴天時に比べて参加者数が伸び悩んだ。
	目標	12,000	人	
	実績	8,000	人	
	評価	C:あまり目標を達成できなかった		
③総合的な評価		B		本市最大規模の子育てイベントであり、市民に定着している。毎年多くの子育て家庭が来場し、親子でイベントを楽しむほか、各地域団体と子育て家庭とのつながりを創出している。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	市制施行70周年記念として実施したもち投げは好評であった。しかし、フェスティバル開催中に荒天となり、体験コーナーでは満足に活動し難い状況であった。ポートルース鳴門の「なるちゃんワールド」も雨天のため稼働させることができなかった。強風によりテントの奥まで浸水した事例もあり、今後イベント従事者の雨天対策が肝要である。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	3
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	H30年度	関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ると共に幅広く広報を行うとともに、「第九」アジア初演100周年記念関連イベントとして事業を実施することにより、参加者の増加を図り、子育て支援に参画できる環境づくりに努める。			
	H31年度	関係機関・団体と連携し、子どもたちの主体的な体験活動の支援や体験活動の充実を図ると共に幅広く広報を行い、参加者の増加を図る。			